



病院だより



発行: 公立福生病院 経営企画課 経営企画係 住所: 東京都福生市加美平1-6-1 <https://www.fussahp.jp>

2026年 新年の挨拶

皆さま あけましておめでとうございます。
本年も皆さまのご健康とご多幸を祈ります。

企業長兼院長挨拶

あけましておめでとうございます。

旧年中は格別のご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年は、日本全国の医療機関の約70%が赤字といわれる厳しい状況の中、当院も例外ではなく、経営面で大変苦しい一年となりました。一部診療科では医師不足により診療制限を行わざるを得ず、また、分娩の早期再開を目指してまいりましたが、さまざまな要因により思うように進まず、地域の皆さまには多大なるご不便とご迷惑をおかけいたしました。この場をお借りして深くお詫び申し上げます。

一方で、明るいニュースもございました。昨年は小児科・眼科・産婦人科において新たに常勤医を迎えることができ、診療体制の強化が進んでおります。まだ十分に周知されていない部分もあるかもしれませんが、すでに幅広い医療に対応できる診療科も増えておりますので、ぜひホームページ等で最新の情報をご確認いただければ幸いです。

また、放射線治療装置（リニアック）の更新も完了し、放射線治療専門医による最新の治療を受けていただける体制が整いました。さらに、令和8年度4月には循環器内科・消化器内科・乳腺外科において、また時期は未定ながら一般内科でも、それぞれ常勤医1名の着任を予定しております。診療科の充実により、地域の皆さまにこれまで以上に質の高い医療を提供できるものと考えております。今後も環境整備を一層進めてまいります。加えて、当院は「病気の方への医療」だけでなく、「健康な方への予防的な関わり」も強化していきたいと考えております。看護部では2019年より瑞穂町の小・中学校でがん教育を開始し、昨年は福生市・羽村市・瑞穂町のすべての構成市町で実施することができました。こうした取り組みをさらに増やし、地域医療のみならず、皆さまの日常生活も支える存在となるべく、『地域医療と生活を支える面倒見のいい病院』というビジョンのもと、新たな公立福生病院へと進化してまいります。

もちろん、地震などの災害に対する備えも怠ることなく、地域の皆さまの安全・安心を守るため、職員一同引き続き努力してまいります。

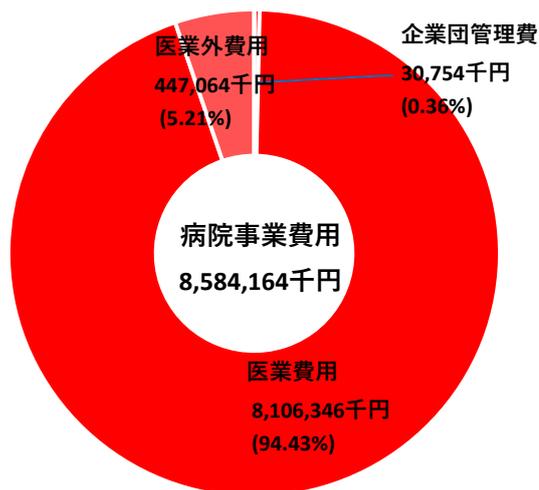
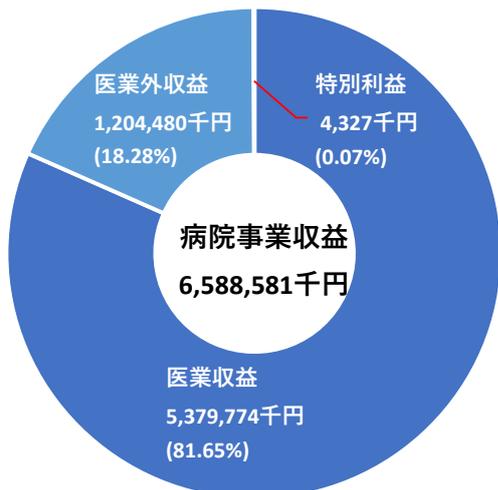
最後になりますが、本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



企業長兼院長
吉田 英彰

令和6年度福生病院企業団 病院事業会計決算の概要

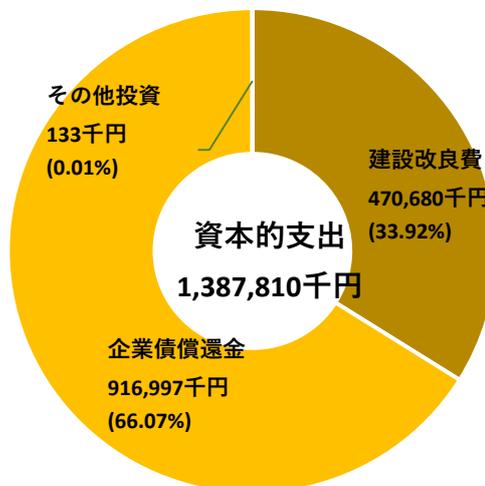
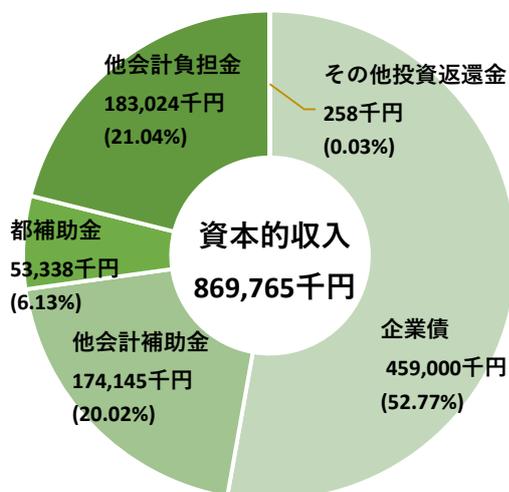
収益的収支 (入院・外来診療等の病院経営活動により発生する収入・支出)



医業収益…入院収益、外来収益など
 医業外収益…構成市町からの繰入金、補助金など

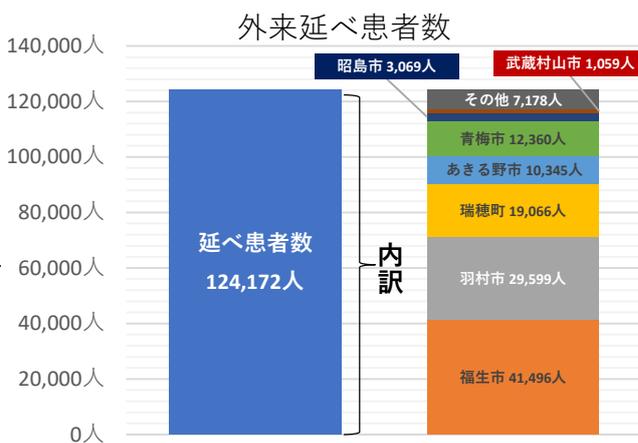
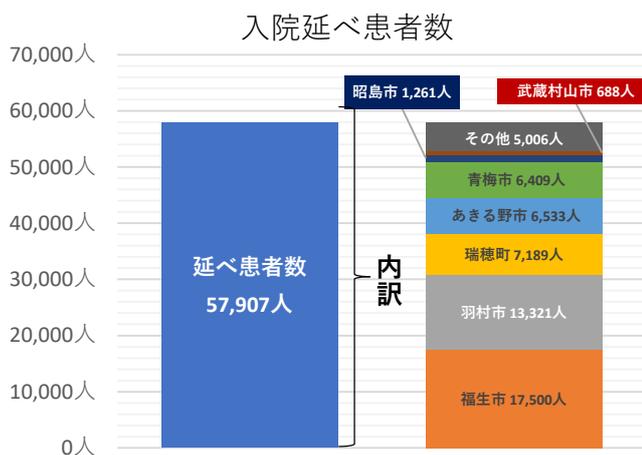
医業費用…給与費、材料費(薬品費・診療材料費等)など
 医療外費用…企業債の支払利息など

資本的収支 (施設の改修工事、高度医療機器の整備及び企業債の償還等に伴う収入・支出)



資本的収入額が資本的支出額に不足する額518,045千円は、損益勘定留保資金等で補てんをしました。

患者数実績



令和7年度 災害医療訓練を実施しました

令和7年 10月5日(日)に、大規模災害発生時における医療体制の実効性を高めることを目的とした、二次トリアージ訓練を実施しました。

二次トリアージ訓練とは

災害現場から搬送された多数の傷病者に対し、病院到着後に*PAT法を用いて、重症度・緊急度を判定し、適切な治療優先度を決定する重要なプロセスです。

本訓練を通じて、院内での各エリアとの連携を強化し、住民の安全・安心を確保する体制整備を図ります。

当日は、37名の職員が参加し、患者役、救急隊役等の役割を設定し、

- ・ 災害現場からの多数傷病者受け入れ
- ・ 一次トリアージ後の患者の二次トリアージ判定
- ・ 治療優先度に応じた振り分け
- ・ 医療記録・情報共有の確認

この4点について訓練を実施しました。

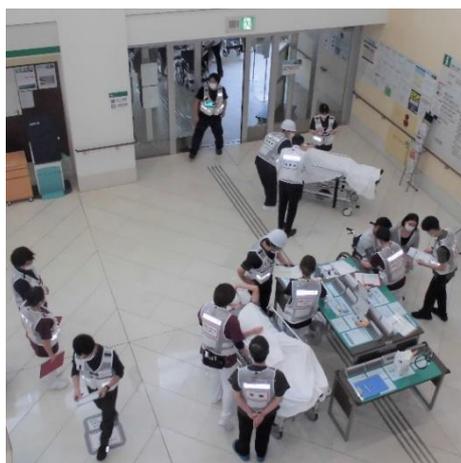
公立福生病院 地震災害時における事業継続計画（BCP）基本方針

1. 人命を最大限優先すること
2. 寸断なく医療提供を行うこと
3. 災害拠点病院として地域の医療提供の核となること

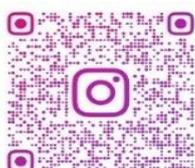
*PAT法とは・・・

災害時などに傷病者の治療優先順位を決める二次トリアージで使われる手法のことです。

一次トリアージで選ばれた患者に対して、意識・呼吸・脈拍などの**生理学的評価**と頭部・胸部・腹部などの**解剖学的評価**を段階的に行い、より精密な緊急度を判断することで、過小評価や過大評価を防ぐことができます。



担当：経理課



@FUSSA_HOSPITAL

○公立福生病院公式 Instagram

院内の様子や当院で働く職員の様子を発信しています。よろしければ、フォローをお願いします。



当院医師が解説する！！

「疾患・症状説明」ページ

ページの場所（スマホ画面）



トップページ / 疾患・症状説明 / 川崎病

川崎病

川崎病とは

乳幼児期に好発する原因不明の全身性血管炎です。

主要症状

- 1 発熱
- 2 両側眼球結膜の充血
- 3 口唇／口腔所見：口唇の紅潮、いちご舌、口腔咽頭粘膜のびまん性発赤
- 4 発疹（BCG接種痕の発赤含む）
- 5 四肢末端の変化（急性期：手足の硬性浮腫、手掌足底／指趾先端の紅斑、回復期：膜様落屑）
- 6 急性期における非化膿性頸部リンパ節腫脹の6つの主要症状のうち、経過中に5症状以上を呈する場合は、川崎病と診断します。

治療

- 重症度に応じて、
- 1 アスピリン+ガンマグロブリン（血液製剤）
 - 2 ステロイド+アスピリン+ガンマグロブリン
- ※冠動脈病変を合併する場合やグロブリン不応例は高次医療機関へ搬送が必要となる場合があります。

治療後のワクチン

- ・生ワクチンは治療後6か月から接種可（追加治療した場合は9か月後から）
- ・不活化ワクチンは2か月後から接種可

文責：本間 英和

小児科

熱中症（小児）

川崎病

熱性けいれん

尿路感染症

コッホ現象

クループ

急性胃腸炎

急性上気道炎・気管支炎・肺炎

免疫性血小板減少性紫斑病（ITP）

IgA血管炎

手足口病・ヘルパンギーナ

突発性発疹

産婦人科

子宮筋腫

子宮頸がん

子宮体がん

卵巣がん

骨盤臓器脱

トップページ / 疾患・症状説明 / 子宮頸がん

子宮頸がん

子宮頸がんとは

子宮は妊娠中に胎児が成長する子宮体部（子宮の内部）と分娩時に胎児が通ってくる子宮頸部（子宮の出口）に分けられます。子宮頸部に発生するがんを子宮頸がんといいます。本邦では1年で1万人の女性に発生し3000人が死亡しています。



（引用：公益社団法人 日本産科婦人科学会 産科・婦人科の病気「子宮頸がん」、参照：2025-10-22, <https://www.jsog.or.jp/citizen/5713/>）

子宮頸がんの原因

子宮頸がんはヒトパピローマウイルス（HPV）というウイルスの感染で発生するといわれています。大半の患者さんは自然に治りますが、一部の患者さんでは子宮頸部異形上皮という状態を経て子宮頸がんに進むと考えられています。現在はヒトパピローマウイルス（HPV）に対するワクチンを接種することで予防が可能です。

子宮頸がんの症状

初期の子宮頸がんには症状がありませんが、進行すると不正性器出血や帯下（おりもの）がみられるようになります。腹痛・腰痛・背部痛などがみられる場合はかなり進行しているケースが観見されます。

子宮頸がんの治療

ごく初期の場合は子宮の出口を円錐形に削り取り、子宮を残せる円錐切除で治療できます。手術自体を避けたい時はレーザーで病変を焼くことも可能ですが、その際は他施設へご紹介いたします。進行している場合は状況により、手術・放射線・抗がん剤いずれかの単独治療もしくはその組み合わせで治療を行います。当院でもですが、放射線治療で一部特殊な小線源治療を必要とする場合は他施設へご紹介いたします。治療の詳細については担当医に確認して下さい。

文責：片岡 良孝

他診療科の疾患・症状説明も掲載しています。

QRコードからもご確認できますので、是非ご確認ください。



担当：経営企画課